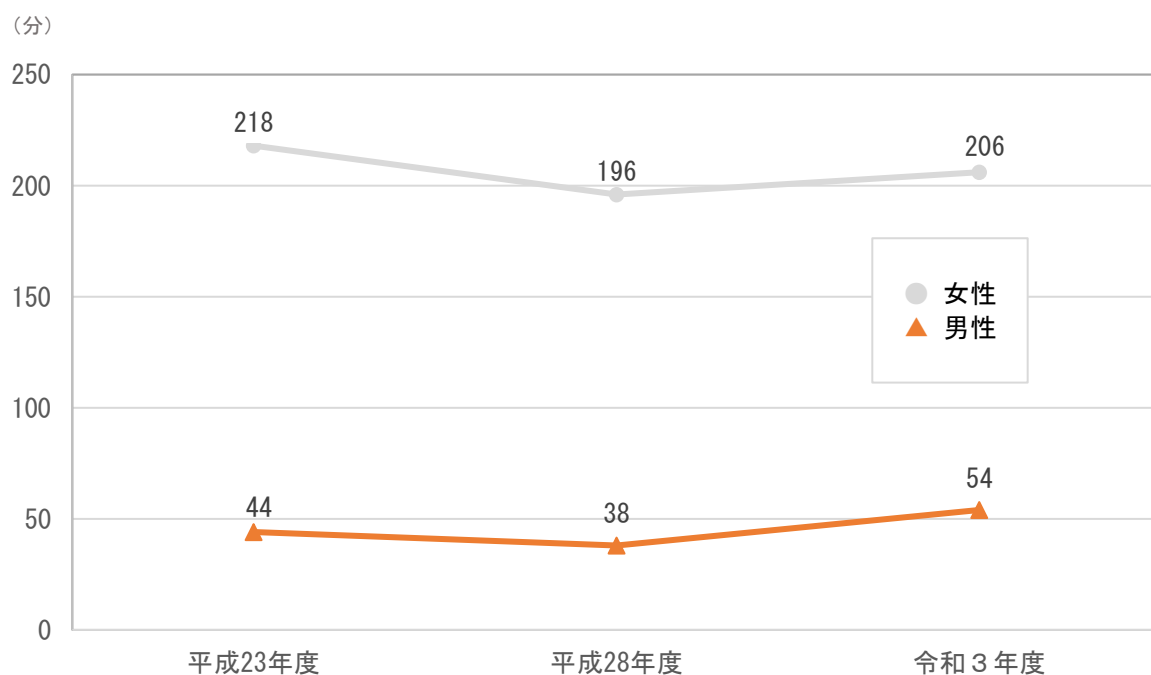


#### 4－（１）男女が共に参画する家庭・職場・地域づくり

家庭においては、本県の男性の家事関連(家事、介護・看護、育児、買い物)に占める時間は1日に54分に対して、女性は3時間26分となっており、前回調査時より男女ともに増加しておりますが、依然として女性への負担が大きくなっています(総務省「令和3年度社会生活基本調査」)。また、男性に多く見られる仕事中心のライフスタイルでは、家庭、地域への参画が困難な状況です。

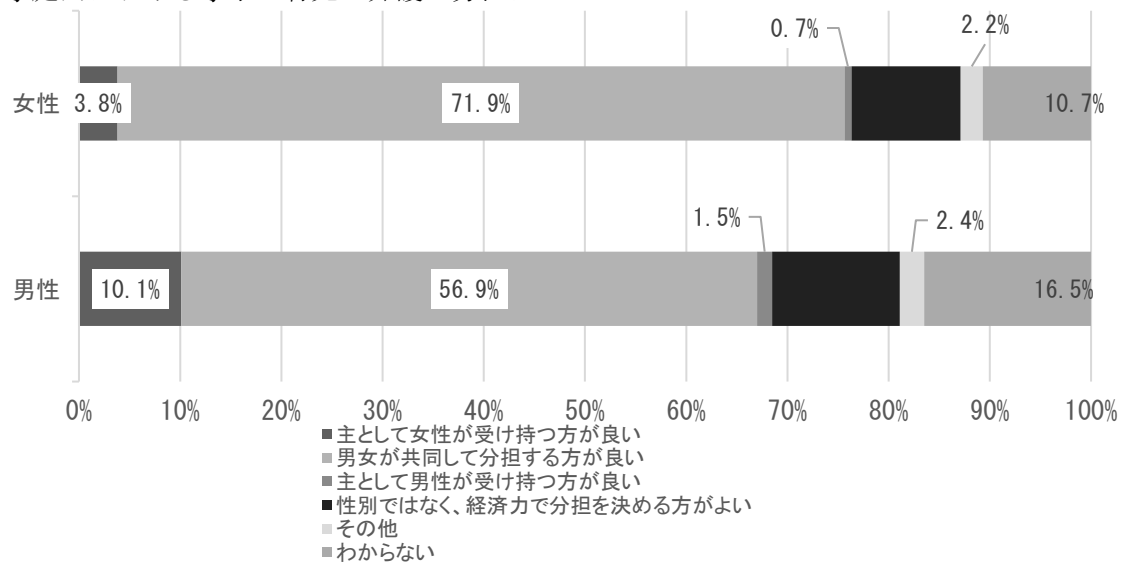
ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)は、経済の活性化や個人生活の充実につながるものであり、その理解は徐々に進んでいます。県が実施した「仕事と家庭の両立支援に関する雇用環境調査」(令和6年度県労政雇用課)では、重要性や必要性を感じている企業は9割を超えており、「取り組んでいる」及び「今後取り組んでいきたい」と回答した企業は、合わせて8割を超えております。このような中、地域社会での助け合いなど、身近なことについての地域の役割や機能に対する期待が高まっています。

○県内男女別(15歳以上)1日あたりの家事関連時間(家事、介護・看護、育児、買い物)



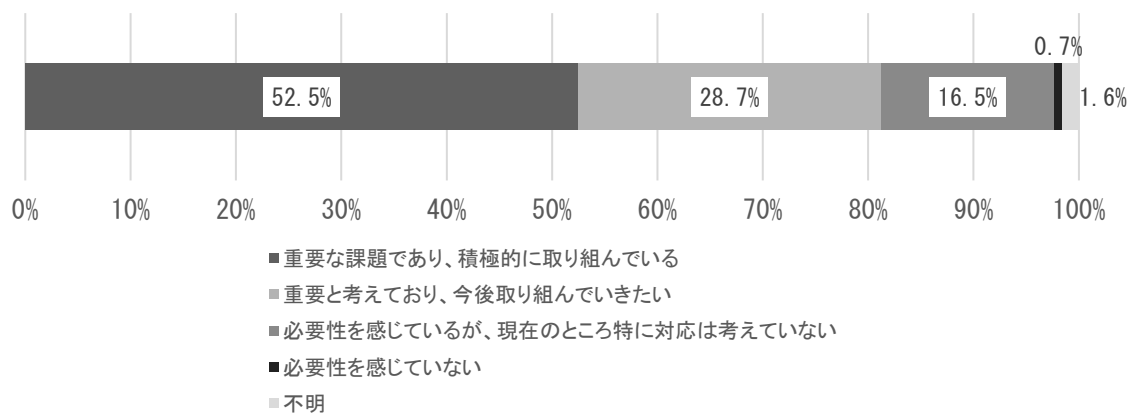
資料出所：総務省「社会生活基本調査」

○家庭内における家事・育児・介護の分担について



資料出所：愛媛県「令和6年度男女共同参画に関する意識調査」

○従業員の仕事と家庭の両立についての意識 (n=697)



資料出所：愛媛県労政雇用課「令和6年度仕事と家庭の両立支援に関する雇用環境調査」

## ■家事参画、育休支援事業

パートナー間のコミュニケーションの活性化等により、家庭内の家事シェアを一層推進するとともに、外部資源の活用など、多様な選択肢を取り入れるきっかけを提供し、家事・育児に関する無意識の思い込みを解消することにより個人や家庭、社会全体の意識変容を促し、女性活躍や仕事と家庭の両立支援を後押ししています。

### ○家事参画促進、育休取得支援事業

#### ①企業社員等を対象とした勉強会の実施

県内企業の社員等を対象に他企業の先進的・具体的な取組みや家事分担、育児スキル等をテーマとして勉強会を実施しました。

- ・講師 経営者、キャリアコンサルタント、組織コミュニケーション講師等
- ・対象 ひめボス宣言事業所等の経営者、人事部門社員、若手社員等
- ・回数等 勉強会 30 回（参加者合計約 650 名）
- ・開催テーマ 【経営者・管理職・人事担当者向け】全てのメンバーが安心して成長できる組織作り  
【管理職向け】部下とのコミュニケーション実践研修  
【若手～中堅社員向け】やる気を引き出すチームビルディング

#### ②情報発信、交流会等の実施

県内で男性の家事参画促進、育休取得等に対して意識の高い個人や企業、経済団体等を対象に、SNS を活用した情報発信を行うとともに、育休中の男性等による交流会等を開催。

- ・ 講 師 キャリアコンサルタント、家事スキル専門家等
- ・ 対 象 育休中の男性、家事参画に興味のある個人、ひめボス宣言事業所の人事部門社員等
- ・ 回数等 交流会及び家事セミナー 9 回（7 月～12 月） 毎回定員 15 名程度  
 《全 9 回（東・中・南予各 3 回）実施し、100 組約 250 名が参加》
- ・ 内 容 育休中の家事参加の体験談や他の育休者の過ごし方に関する座談会、直ちに実践できる家事スキルの講習等
- ・ 情報発信 特設サイトや SNS を活用し、交流会や家事セミナーの開催情報、実施結果等を発信するほか、育休中の過ごし方に役立つ家事や育児のワンポイント知識の紹介などを実施しました。



交流会の開催



特設サイトによる情報発信

## ○家事シェア推進キャンペーン事業

これまで家事参加や家事シェアに興味のなかった層にも家事参画への関心を持ってもらい、パートナー間で家事分担について話し合うきっかけ作りとするため、家庭における家事シェアの取組みに関し、家事の具体的内容や誰が担当しているかを「見える化」するキャンペーンを実施しました。

- ・ 応募対象：県内在住者（1 世帯（同一住所）1 回まで応募可）  
 ※抽選で、100 名に家事グッズ（洗剤セット）プレゼント
- ・ キャンペーン実施時期

応募期間：令和 6 年 7 月 1 日～9 月 30 日 抽選及び発送：11 月

応募件数：683 件

<アンケート結果>

参加者数：683 名（女性：458 名、男性：220 名、答えたくない：5 名）

Q. 自分に家事・育児の負担が偏っていると思うと回答した者の割合

（女性）

|                 |       |       |
|-----------------|-------|-------|
| 偏りはない           | 108 人 | 23.6% |
| パートナーに偏っていると感じた | 12 人  | 2.6%  |
| 自分に偏っていると感じた    | 327 人 | 71.4% |
| その他             | 11 人  | 2.4%  |

（男性）

|                 |       |       |
|-----------------|-------|-------|
| 偏りはない           | 69 人  | 31.4% |
| パートナーに偏っていると感じた | 126 人 | 57.3% |
| 自分に偏っていると感じた    | 19 人  | 8.6%  |
| その他             | 6 人   | 2.7%  |

Q. キャンペーン参加してみて、あなたの家事・育児の役割を見直そうと思いましたか。

（女性）

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 思った   | 158 人 | 34.5% |
| 少し思った | 159 人 | 34.7% |

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| あまり思わない | 107 人 | 23.4% |
| 思わない    | 23 人  | 5.0%  |
| その他     | 11 人  | 2.4%  |

(男性)

|       |      |       |
|-------|------|-------|
| 思った   | 66 人 | 30.0% |
| 少し思った | 95 人 | 43.2% |

|         |      |       |
|---------|------|-------|
| あまり思わない | 42 人 | 19.1% |
| 思わない    | 10 人 | 4.5%  |
| その他     | 7 人  | 3.2%  |

#### 《参加者の意見》

- 手伝うという感覚ではなく、責任を持って自らやるという意識が重要と覚えるので、行動で示していけるように頑張りたいです。(30 代男性)
- パートナーとだけでなく、子どもがある程度成長してきたら、3 人でという考えがあるので、「家事は家族みんなで」を心掛けたいと思います。(40 代男性)
- 協力をしているつもりでいたが、あらためてチェックを入れるとほとんどシェアできていないことに気づいた。今後改善してみたい。(50 代男性)
- 夫と協力したいが、仕事の拘束時間が長すぎて、シェアできないです。家事シェアのために働き方の見直しをして欲しい。(30 代女性)
- 仕事の融通が効かない夫に無理に家事をやってくれとはいえないが、私に偏っていることを当たり前とは思わないで欲しい。お互いがストレスなく過ごせる環境づくりをこれからも話し合っていきたい。(40 代女性)
- 家事育児を協力するには、家庭レベルではどうにもならないところがある。「男性は仕事優先、家庭のことでは休みにくい。急な休みは母親がすべき」みたいな社会の風潮を変えていってほしい。(40 代女性)
- 私たち世代は育児ではなく、今後介護になっていくが、育児も介護も協力しあうという点では一緒だと思う。日頃から、一方に任せきりではなく、なるべく自分でできるように心掛ける事が大切だと思う。(50 代女性)

#### ○家事シェア推進ブック作成業務

各家庭で家事シェアについて考え、話し合うきっかけづくりとしていただくことを目的に、家事・育児の悩みに対する解決策等を紹介した冊子を作成しました。

- ・タイトル：これからの家事シェアスタイルブック
- ・主な内容：データで見る愛媛の家事シェアの現状、家事・育児の悩みに対する解決策 20 トピックス（料理編、掃除・洗濯編、名もなき家事編、育児・介護編）、家事シェアに関する地雷ワード・神ワード、家事シェアチェックリスト
- ・発行部数：6,000 部
- ・主な配付先：市町、児童館、男女共同参画センター、県関連施設 等



#### ○家事代行サービスモデル事業

家事のアウトソーシングが新たな家事シェアの選択肢として加えられることで、男女が有している家事に対する無意識の思い込みの解消を図るため、モニター調査を実施し、利用する様子や感想等の取材結果を周知するための啓発冊子を作成しています。

- ・内容：約 2 万円相当の家事代行サービスを無料で体験
- ・応募対象：県内在住でモニター調査に協力可能な世帯※抽選 10 世帯
- ・募集期間：令和 6 年 9 月～10 月 応募総数：168 件

＜アンケート結果＞

Q.家事代行サービスを利用したことがありますか

|              |       |       |
|--------------|-------|-------|
| 利用したことがない    | 149 人 | 89.2% |
| 過去に利用したことがある | 16 人  | 9.5%  |
| 利用している       | 3 人   | 1.7%  |

Q.家事代行サービスを利用しない理由について回答してください

|                           |      |     |
|---------------------------|------|-----|
| 予算の問題                     | 84 件 | 56% |
| 信頼できる業者を知らない、調べるのが面倒      | 84 件 | 56% |
| 利用前にある程度片付けをしないといけないと思うから | 53 件 | 36% |
| 家事にお金を払うことに抵抗がある          | 43 件 | 29% |
| 他者を自宅に入れることに抵抗がある         | 25 件 | 17% |
| 家事を他者にやってもらうことに抵抗がある      | 22 件 | 15% |
| 家事代行サービスの存在を知らなかった        | 13 件 | 9%  |
| そもそも必要性を感じない              | 4 件  | 3%  |
| 同居家族の同意が得られない             | 1 件  | 1%  |
| その他                       | 4 件  | 3%  |

## ■ライフデザイン支援事業

人生における選択肢が多様化する中、ライフデザインに関する正しい知識（妊孕性を含む）知識や手法を学ぶことで、自身が希望するキャリアやライフイベントの実現可能性を高めることができるよう、講座やイベントを開催したほか、冊子を作成し、多くの若い世代に周知啓発を図りました。

### ○学校等における出前講座の実施

講師（キャリアコンサルタント等）による高校・大学等でのライフデザイン等に関する出前講座を実施しました。将来的なライフイベントを具体的に描くことに繋がるよう結婚や子育て、仕事と家庭の両立の実現等に関するデータの紹介のほか、過去の体験等に基づく自身の価値観の掘り起こしやライフデザインを実際に作成するワークなども取り入れています。

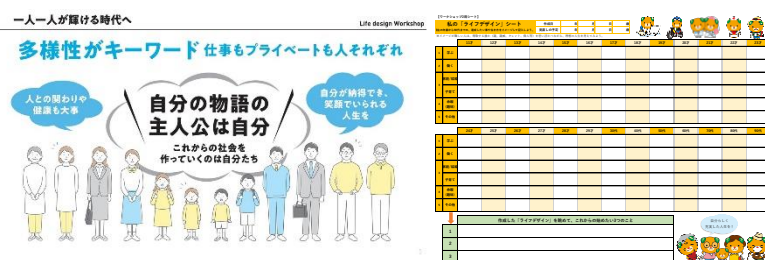
#### 実施校（大学）

| 学校名      | 日時        | 人数    |
|----------|-----------|-------|
| 医療技術大学   | 11 月 6 日  | 100 名 |
| 愛媛大学     | 11 月 20 日 | 132 名 |
| 松山東雲短期大学 | 12 月 18 日 | 65 名  |
| 松山大学     | 12 月 24 日 | 180 名 |

## 実施校（高校）

| 学校名             | 日時        | 学級数  | 人数   |
|-----------------|-----------|------|------|
| 宇和島南中等教育学校（５年生） | 11月18日    | 4クラス | 106名 |
| 東温高校（２年生）       | 12月4日     | 7クラス | 210名 |
| 松山工業高校（２年生）     | 12月12、13日 | 8クラス | 314名 |
| 新居浜東高校（２年生）     | 令和7年1月16日 | 7クラス | 267名 |

（実施校数：8校（大学4校、高校4校） 受講者数：1,374名）



### ○大学生のためのライフデザイン交流会の開催

県内企業で働く社会人等ロールモデルを招聘し、グループワーク等を通じて多様な意見や価値観を知り、学生自身の選択肢の幅を広げるための交流会を開催しました。

- ・日 時 令和6年12月11日（水） 17時～19時
- ・会 場 サイボウズ松山オフィス
- ・参加者数 31人（県内複数の大学から参加あり）
- ・パネリスト 様々な職種や立場で活躍する方をロールモデルとして選定

- ①フリーアナウンサー松山ローカル大学代表 宮嶋 那帆氏
- ②起業家代表 株式会社まどんなクリエイト 代表取締役 武市 葉奈氏
- ③メディア代表 南海放送株式会社 報道局報道部 杉本 雅氏
- ④パラレルキャリア代表 一般社団法人フリースクール愛媛 代表 孕石修也氏



### ○ライフデザイン啓発ノートの制作

学校でのライフデザイン講座の実施内容などを踏まえ、若い世代が結婚・妊娠・出産・子育て、就業について前向きに考えることができ、授業でも活用可能な統計データ、ワークシートなどを掲載したノートを製作しました。

#### 《掲載内容例》

1. ライフデザインとは
2. ライフステージに関するデータや情報（仕事・雇用、結婚・家庭、妊娠・出産、育児、男女共同参画など）
3. 人口減少や家事シェア、男性育休の現状など社会的背景の理解
4. 性に関する正確な知識（妊孕性含む）、考え方（互いを尊重し合う人間関係、性と生殖に関する健康と権利など）

- 5.愛媛ゆかりのロールモデルからのメッセージ（ティモンディ）
- 6.ワークシート（価値観発見シート、人生設計年表シート） など

## ■魅力ある職場環境づくり支援事業

人口減少に伴う人手不足が深刻化する中、働き方改革による労働生産性向上の必要性について企業にきめ細やかなアプローチにより啓発を図るとともに、一定の意識レベルに達している企業において取組みの牽引役を担うリーダーを養成することで企業の自発的な取組みを支援し、働き手から選ばれる魅力ある職場環境の創出につなげています。

### ○愛媛県働き方改革包括支援プラザ運営事業

愛媛労働局と連携して、企業の働き方改革のワンストップ拠点を開設し、窓口相談、企業訪問等を通じて働き方改革に関する意識啓発や取組の促進を図りました。

- ・拠点名称：愛媛県働き方改革包括支援プラザ（愛称：働（はた）ナビえひめ）
- ・開所時間：9：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）
- ・業務内容：
  - 働き方改革に関する窓口相談、個別訪問支援
  - プッシュ型働き方改革出前講座の実施
  - 企業ニーズに応じた支援機関への取り次ぎ
  - 働き方改革取組ガイド・事例集の普及啓発 など
- ・業務状況：（令和6年度）
  - 相談件数：938件
  - うちプッシュ型働き方改革出前講座：523件
  - 延べ支援企業数：373社
  - 取組ガイドの普及啓発：364件

### ○働き方改革推進リーダー養成事業

県内中小企業が自発的に働き方改革を推進していく上で、その牽引役となる人材を育成するため、法制度や働き方改革による労働生産性向上に向けた実践手法等を集中的に学ぶ養成講座を開催するとともに、個別フォローを実施しました。また、年度末には、個別フォローを実施した企業の取組みをまとめた事例集を作成しました。

#### ①働き方改革推進リーダー養成講座の開催

社内の課題把握と取組手法の検討方法、社内の理解と協力を得るためのノウハウ等、社内で働き方改革を実践する上で必要な知識と手法の習得するためのセミナーを開催しました。また、最終回では参加企業による約半年間の働き方改革に関する取組内容や成果、今後の取組方針等に関する共有会を行いました。

- ・対象：県内企業の経営者、人事担当者、職場リーダーなど
- ・開催日：（第1回）令和6年7月31日（水）愛媛県男女共同参画センター  
（第2回）令和6年9月18日（水）愛媛県男女共同参画センター  
（第3回）令和6年12月18日（水）愛媛県男女共同参画センター
- ・参加企業数：10社

## ②養成講座受講企業への個別フォローの実施

①の講座受講企業において実際に働き方の見直すための活動を実践し、社内での取り組みを進める際の課題解決、対処手法等について企業ごとにコンサルタントによる助言等を行いました。

- ・支援企業数：10 社
- ・支援期間：令和 6 年 8 月～11 月
- ・支援回数：各社 3 回（原則対面 1 回、オンライン 2 回）

## ③個別フォロー事例集の作成

②の個別フォローで対処した課題や企業に対する助言内容をまとめた事例集を作成しました。

- ・作成媒体：電子データ（PDF）
- ・作成時期：令和 7 年 3 月

# 4－（２）安心して子どもを育てられる環境整備

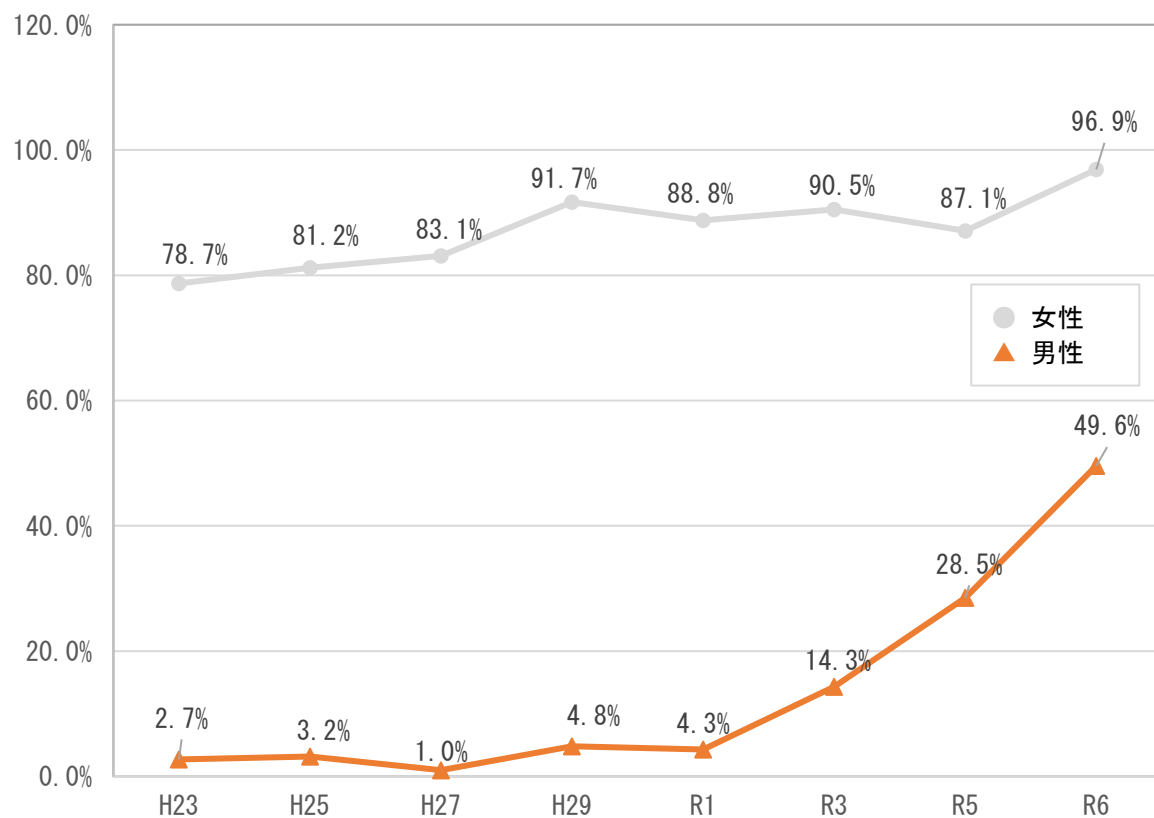
女性の就業率が上昇する中で、多くの女性が子育てと仕事の両立の問題に直面しており、男性も女性も子育てをしながら社会で当たり前活躍できる環境の整備がますます重要となる中、女性が子育ての負担感から、こどもを生むことをあきらめたり、仕事を辞めたりしなければならない場合があります、女性の生き方の選択に大きな影響を与えています。このため、令和 7 年 3 月に策定した「愛媛県こども計画」（子育て支援課）では、結婚から子育てへの切れ目のない支援を推進することとし、こどもの幸福に焦点をあてた各種政策を展開するとともに、共働き・共育を推進し、女性と男性が共にキャリアアップと子育てを両立できる環境整備について官民一体となって取り組み、こども・子育て当事者を社会全体で支えることとしています。このような取組により、男性の育児休業取得率が増加するなど、男性も育児に参画しやすい職場環境が少しずつ整備されております。

## ○愛顔（えがお）の子育て応援事業

愛媛県では、県内に本社、本店または紙おむつ製造工場を立地する県内紙おむつメーカー 3 社（花王株式会社、大王製紙株式会社、ユニ・チャーム株式会社）、市町と連携して、平成 29 年度（2017 年度）から愛媛県ならではの子育て応援事業「愛顔の子育て応援事業」を実施しています。対象市町に住民登録がある第 2 子以降、満 1 歳未満のお子さんのいる世帯に、県内紙おむつメーカーの乳幼児用紙おむつ製品を購入する際に利用できる「愛顔（えがお）っ子応援券（※）」50,000 円分【1,000 円券の 50 枚綴り】を、市町役場を通じて交付しています。

※市町によっては、名称が異なることがあります。

○県内民間事業所の育児休業取得率（愛媛県）

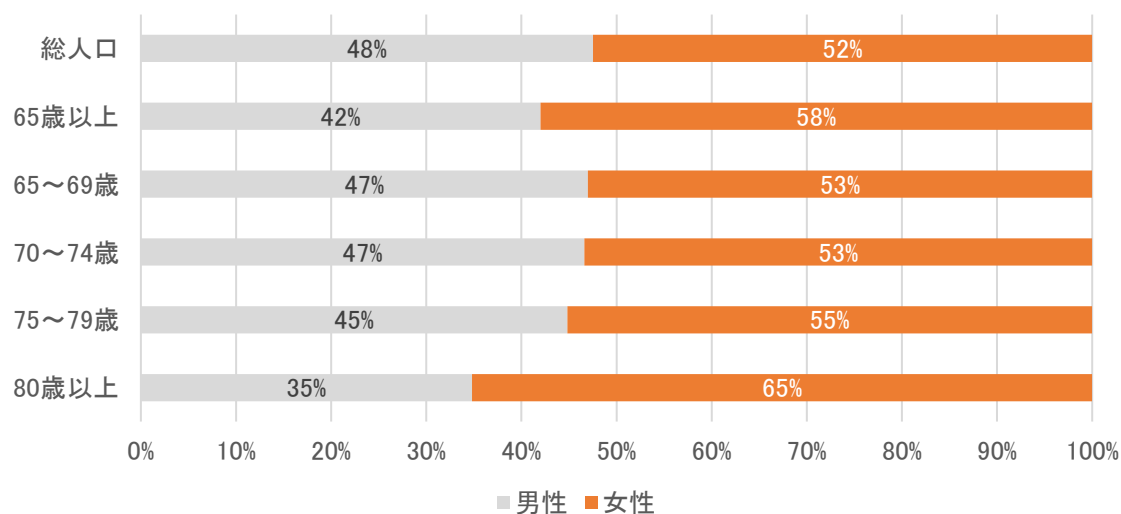


資料出所：愛媛県労政雇用課「令和6年度仕事と家庭の両立支援に関する雇用環境調査」

#### 4－（３）高齢者や障がい者等が共に輝いて暮らせる環境整備

本県の高齢化率は、令和５年４月現在 33.45％で全国的にも高い水準であり、今後も上昇が予測されています。家族の介護は、介護保険制度の導入により、ある程度軽減されましたが、育児と同様に主に女性が担い、大きな負担となっています。また、令和２年国勢調査では、ひとり親世帯数は減少しているものの、高齢化の進展による高齢単身世帯の増加（平成 27 年国勢調査に比し約 10％の増）が著しく、貧困など生活上の困難に直面する男女が増加しています。障がい者については、障がいの重度化、重複化及び高齢化などにより、福祉サービスに対するニーズが多様化・高度化しています。

##### ○高齢者の男女比率（愛媛県）



資料出所：愛媛県長寿介護課「令和６年度高齢者人口等統計表」

##### ○ひとり親世帯数及び高齢単身世帯数（愛媛県）

| 区分      |      | H12    | H17    | H22    | H27    | R2     |
|---------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ひとり親世帯数 | 母子世帯 | 8,975  | 10,428 | 10,643 | 10,060 | 8,105  |
|         | 父子世帯 | 1,252  | 1,321  | 1,240  | 1,141  | 918    |
|         | 計    | 10,227 | 11,749 | 11,883 | 11,201 | 9,023  |
| 高齢単身世帯数 | 女性   | 41,194 | 47,704 | 53,070 | 59,013 | 62,501 |
|         | 男性   | 9,997  | 13,393 | 16,305 | 22,343 | 27,312 |
|         | 計    | 51,191 | 61,097 | 69,375 | 81,356 | 89,813 |

資料出所：総務省統計局「国勢調査報告」